

第12回 網走開発建設部 総合評価審査委員会 審議概要

開催日及び場所	平成24年2月16日(木) 網走開発建設部 第1会議室	
委員	大島俊之(北見工業大学教授)、高橋 清(北見工業大学教授)、 辻 修(帯広畜産大学教授) (五十音順)	
議事	<p>1 平成23年度総合評価落札方式等の変更点について</p> <p>2 平成23年度総合評価落札方式の実施状況について</p> <p>3 土木関係コンサルタント業務の審査について</p> <p>4 個別審査</p> <p>①平成23年度 総合評価落札方式実施工事の事後審査について</p> <p>②平成23年度 総合評価落札方式実施予定工事の事前審査について</p> <p>③平成23年度 簡易公募プロポーザル方式業務の事後審査について</p> <p>④平成24年度 総合評価落札方式業務の事前審査について</p>	
委員からの意見・質問、それに対する回答等		
意見・質問	説明・回答	
<p>1. 平成23年度 総合評価落札方式等の変更点について</p> <p>9月に個別に説明された内容ですね。</p> <p>2. 平成23年度 総合評価落札方式の実施状況について</p> <p style="text-align: center;">[特になし]</p> <p>3. 土木関係コンサルタント業務の審査について</p> <p>発注者支援業務については市場化テストの対象となっていることでよいか?</p> <p>技術提案の評価結果の合計点の分布表(参加数と点数の分布状況)はないか?</p> <p>参加業者が数者の時は各者、それなりの点数となっているが、少数の参加の時は、点数が低い傾向にある。</p>	<p>事前に説明した内容どおりで、主な変更点は、</p> <p>① 簡易Ⅰ～Ⅲを『簡易』に一本化</p> <p>② 評定の見直し</p> <p>③ 地域貢献7活動の見直し</p> <p>となっている。</p> <p>市場化テストは、道路及び河川部門とH24年度から港湾部門も加えて行うこととしている。</p> <p>作成してない。</p> <p>そういう傾向はある。しかし、参加要件を満</p>	

4. 個別審査

① 平成23年度 総合評価落札方式実施予定工事後の事後審査について

北見地区屯田川幹線排水路東相内工区工事

対象が1者なので相対的な評価はできないが、18点満点で8.5点は低いのではないか？

地元の業者は、技術提案の作成が不得意であるように見受けられる。地元業者の育成という観点から勉強会を行っていないのか？

勉強会の開催が無理であるなら、1者の時は点数が低い傾向にあるというアナウンスはしても良いのでは？

② 平成23年度 総合評価落札方式実施予定工事前の事前審査について

北海道横断自動車道 訓子府町 訓子府改良工事川紋別自動車道

技術提案について、1項目につき3提案までとなっているが、評価予定の提案項目に「その他」が入っているのであれば、2提案に抑えても良いのでは？

基本は、評価しやすい方法で考えて頂きたい。

③ 平成23年度簡易プロポーザル方式業務の事後審査について

常呂川河口土砂流出対策検討業務

5者の点数は僅差となっているが、特定の者は何が有効であったのか？

業務内容は実験を伴うのか？

現地調査も行わないのか？

④ 平成24年度総合評価方式業務の事前審査について

網走開発建設部管内 道路積算技術業務

履行体制ヒアリングの結果は、点数にどう評価されるのか？

たしてれば、点数が低いという理由で契約しないということにはならない。

参加要件を満たしてれば、点数が低いという理由で契約しないということにはならない。

技術提案書の書き方という主旨の勉強会は開催していない。

意見を参考に検討してまいりたい。

意見を参考に検討してまいりたい。

了解。

特定の者は、技術提案がほとんどの項目でA評価となっている。

実験は行わない。モデル計算のみである。

本業務では行わない。土砂の流入に伴う測量データは既にある。

この業務は道路事業全ての積算を対象としているのか？

技術提案評価点に履行確実性度に応じた係数を乗じて点数を評価する。

約40%程度を対象としている。